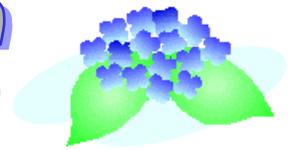


# パートナーシップNEWS



## 協働事業提案制度の構築へ

第40号 平成19年6月

発行：市民協働推進課

(パートナーシップ推進チーム)

～市民フォーラムから市長へ提言を受けて～

### 市民と行政の効果的な協働事業の仕組み

5月29日、「パートナーシップ市民フォーラムさがみはら」から加山市長に「相模原市における市民と行政の効果的な協働事業の仕組み」（協働事業提案・検証制度の創設）についての提言書が手渡されました。



提言の内容は 相模原市ホームページのほか市民協働推進課、各行政資料コーナー・出張所・公民館・図書館でもご覧いただけます。  
<http://www/simin/simin-kyoudou/html/teigen.html>

## 協働事業提案制度って？

ところで、「協働事業提案・検証制度」とは、どのようなもののでしょうか？

地方分権の推進により、全国一律のまちづくりから、市民を主体とした個性豊かな特色あるまちづくりの時代へと変化する中、市民自ら考え行動することによって、多様な市民ニーズや地域課題を解決していく動きも活発化しており、「協働」という言葉も盛んに登場するようになりました。

「協働」とは、市民と行政とが、お互いに依存しあうのではなく、対等な立場で、それぞれの特性を活かしながら、適切な役割分担によって、目的の達成・課題の解決を図ろうとするもので、このたび提案された「協働事業提案制度」は、市民と行政がともにアイデアを出し合い、限られた資源（人材、資金、場所など）を効果的に活用しながら活力あるまちづくりを進めるための仕組みのひとつです。

新たな仕組みづくり 協働ステージへ！ ～ともに成長しよう～

### ステージ1



2月24日開催  
市民フォーラム主催  
タウンミーティング

#### ☆市民が課題を共有するステージから

昨年4月の設立以降、市民フォーラムでは、約1年間に渡り、自らが設定した「協働事業の仕組み」という難しいテーマについて、100名を超える会員がパートナーシップの原則に立ち、熱い議論を積み重ねてきました。

また、市内3会場においてタウンミーティングを開催し、身近な市民団体による協働事例の発表を通して「協働」の理解を深めると共に、ワークショップ手法を活用するなど、提言素案に対する幅広い市民意見の反映に努めてきました。こうして、市民のみなさんの熱い思いが、提言書にまとめあげられました。

### ステージ2



5月31日開催 合同会議  
市民フォーラムから  
推進会議へ提案説明

#### ☆市民と行政が協働して解決するステージへ

提言を受けた後、これまでの行政システムであれば、行政職員のみで実現化に向けた取り組みが進められるところですが、今回は、提案した「市民フォーラム」と庁内組織である「パートナーシップ推進会議」・「同検討部会」とが協働して制度構築に取り組みます。

制度を構築する協働プロセスの中で、市民・行政職員が互いに理解しあい、特性を活かしあいながら、第2ステージでは共に成長して行きたいと思います。取り組み状況は随時お知らせしてまいりますので、皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております！